

国際ロータリー第 2500 地区第 6 分区

帯広東ロータリークラブ会報



2014-2015 年度
帯広東ロータリークラブ
会 長 西 田 重 人
幹 事 深 澤 佳 世 子
メディア委員長 加藤雄樹

「和 気 藹 々」

第1451回例会

平成26年11月25日(火) 於 アパホテル帯広駅前

■創 立：1984年6月15日 ■認 証：1984年6月18日 ■例会：毎週火曜日 12:30～13:30
■事務局：帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会場：アパホテル帯広駅前



2014-2015 年度

国際ロータリーテーマ

【ロータリーに輝きを】

2014-2015 年度国際ロータリー会長

ゲイリーC.K.ホアン

ガバナーテーマ

【誠 心 誠 意】

国際ロータリー第 2500 地区 ガバナー

奥 周 盛

◎起 立 古川直也副 S A A

◎友情の握手 古川直也副 S A A

◎点 鐘 西田会長

◎開 会 宣 言 古川直也副 S A A

ロータリーソング

それこそロータリー

古川直也副 S A A

◎会 食



お酒を終えたら蕎麦を食す。「男の作法」の中に、そばのつゆにしても、ちょっと先だけつけてスーッとやるのが本当だと言うけど、これだって一概には言えないんだ。つゆが薄い場合にはどっぷりつけていいんだよ。ちょっとつけると言うのは、どっぷりつけたら辛くて食べられないからちょっとつける。たとえば東京の「藪」のそばなんかは、つゆが濃いわけだから、全部つけられないわけだよ。だから、先にちょっとつけてスーッと吸い込むと口の中で混ざり合ってちょうど良くなるわけ、と書いておられます。なるほどなあ、勉強になるなあ。蕎麦屋で呑む楽しさを知ってしまった今、「旅の気分」を昼間から堂々と満喫しております。ただの呑んべいにあらず。師匠に近づきたい浸るための勉強なのです。

会務報告

深澤幹事

- ・次週12月2日は年次総会です。沢山の方に参加をお願いいたします。
- ・12月16日は年末家族会がありますが、家族に日程をお伝えください。



会長挨拶

西田会長



店員の、おねえさまたちの声、蕎麦をすする音、会話などの声が混じり合い、こんな空間で池波さんも呑んでいたのかと思うにつけ興奮してしまいました。その後も上京の度には、ほとんど足を運んでおります。あの空間がなんとも居心地が良いのです。いつだったか定かではありませんが、ある殿方が、お酒と、とりわさ、南蛮カレーを注文し

すべて一緒に運ばせると「これで全部だからお会計お願いね」と食べる前にお支払い。江戸っ子かどうかは、判らないが、なんとも粋がいい、格好いいなあと思いました。相席と言ってもほどよい距離を保ち、挨拶を交わす。

ニコニコ献金

- ・西田会長：早くスッキリして美味しいお酒飲みたいヨー。
- ・阿部副会長：今日の晴れにニコニコします。
- ・深澤幹事：次週は年次総会です、沢山の方の出席をお願いいたします。
- ・石川会員：本日、会員増強・ロータリー情報委員会の担当例会です。発表者の方よろしくをお願いします。
- ・加藤雄樹会員：久しぶりです。メディア委員会の皆さんには大変お世話になり、ありがとうございました。



多分大丈夫だと思います。

- **加藤昭治会員**：寒さと共に体がたかくなってきました。体を動かしましょう。
- **益子会員**：秋の鎌倉を訪ねてきました。ニコニコします。
- **古川直也会員**：今月も最終の週になりました。寒くなって参りました。体に気をつけて、ガンバリましょう。
- **池田会員**：情報集会の報告をさせていただきます。よろしくをお願いします。
- **加藤武志会員**：8期目の確定申告が終わりました。皆様のお陰で、ありがとうございました。

プログラム

【情報集会】

テーマ：

あなたにとってロータリーとは

～こうありたいロータリー～

石川博機 会員増強・ロータリー情報委員長



● 1 班発表者：加藤昭治会員

当クラブの平均年齢は64.2歳だそうです。古い時代の話が多くあり、これまでも長谷川さんや福岡さんのご活躍されたお話などが沢山ありました。これまでの古い会員が、最近多く入ってきた新しい会員を育てていき、将来の会長、さらに地区役員をやってもらい勉強してもらいたいと考えます。現在ガバナー補佐をやられている川田氏は目覚めてから僅か4年でそうなった例もある。当クラブから長谷川ガバナーを輩出してから25年経過していることもあるので、そろそろガバナーを輩出する時期でもあります。

● 2 班発表者：加藤武志会員

新入会員は石川委員長の新入会員オリエンテーションで学ばせていただいた。そのなかで職業を通じて貢献することがロータリー活動の原点であると学び、職業奉仕のイロハを学んでまいりたい。さらに業界中心の考え方

から奉仕活動について学び、広げていきたい。

仕事を通じてのロータリー活動に感謝して活動していきたい。先輩会員にたくさん教わったことに感謝し、後輩にも伝えていきたい。楽しくなければ人は集わない、楽しい雰囲気づくりをすることも大事である。



● 3 班発表者：池田会員

人と人の縁を大切にしていくな場所であり、親睦の場でもあり、修練の場でもあり、五大奉仕をしながら地域貢献をしていくことがロータリーの間である。他のクラブや地区との交流をしていくことでスキルアップのできる団体でもある。

会員歴の若い会員が積極的に参加してもらっているがベテランも若い会員もお互いを認め合い頑張ることが大切である。

和気藹々もすばらしいテーマであります。昔のように厳しくも優しく接してもらうことも大事ではないか。例会に出席することが楽しみにできることが、永く継続できることになると思う。



● 4 班発表者：益子会員

ロータリークラブの昔と今では違って、昔は格式が高く入会が限られていたが、今は敷居も低くなり女性も多く変革期にある背景がある。

自己研鑽、強い友情と強い尊敬が必要、ロータリアンとしての自覚と重みをもう一度思い起こすべき、ロータリアンとの出会いが人生のすべてであるなど。

やむを得ない事情により退会された方や亡くなられた方に対して友情を繋ぎとめることはできないだろうか。

当クラブも大切な変革期に近づいているのでないか、ロータリーの行動規範と自己の行動を照らし合わせて社会や地域や家族と接しているか自らに問いかけることが必要である。こうありたいロータリーとは何か、このテーマに日々真正面から向き合い豊かな人生を目指し人との出会いを大切にすることロータリアンとして向上していくことが大事である。



次週のプログラム

12月2日(火) 年次総会